



記者手帳

不景気が長引く

中、二番底がくるか

もしれないという話

は、産業廃棄物処理

業界にとっても、他

人事ではない。国に

よる緊急融資への支

援を受けた業者は約

2000社あると言

われるが、今期はこ

れで凌げても来期の

保証はない。現に「ま

さかあの真面目な業

者が」というよう

な倒産が起きてい

産廃処理業界の再編

ここでにわかに浮上しているのが、業界再編の動きだ。ある地域の処理業者は「ここに来て、収集運搬業者が増え

たところ、実際の許可業者数は国の統計による二十数万件ではなく、数万件になると言われていた。

ところが、さらに精査すると実質的には一万数千件(社)が主力事業として手掛けていているのが実情

しているのは数百社ぐらいになるのではないか」という。明確に根拠のある数字ではないが、現象としては確かにそのようなことが起きている。地元の有力業者に処理施設を売

さらには、これら地域の有力業者は地元の産業廃棄物だけでは現状すら維持できないため、全国規模の業者によるネットワークや廃棄物管理会社によるネットワークに活路を見出すものや、「地方発海外事業

て過当競争になってい。安値競争には巻き込まれたくない」というが、これについてある業界関係者は「一社で複数の都道府県政令市の許可を持っているケースがあるので、これらの重複をなくし

で、もっと言えば、実は二千数百社ぐらいの市場になる。さらに処理施設をもっている処分業者で許可は持っているが、実際には営業して

って撤退する業者がある一方で、そのような有力業者は各県に数社程度あり、経営体力の弱った業者に手を差し伸べ、いわゆるホールディングスの傘下にした

これに対して、株式公開をしている全国の業者がシェア競争を展開しているのがおおよその業界見取り図だが、このままの景気が続くとこの動きが加速することが考えられる。

(中)